

### 令和6年度三浦半島宮陵会の集い

#### ヴェルクよこすかに於いて盛大に開催

令和6年度神奈川大学三浦半島宮陵会の集い「総会・講演会・懇親会」が7月7日、京急横須賀中央駅から徒歩5分の「ヴェルクよこすか（横須賀市立勤労福祉会館）」に62人が参加して開催された。

進行役の鈴木明子幹事（平成6年中国語卒）の司会で始まった総会には会員51人が参加し、会則により原柳作副会長（昭和46年英語英文卒）が議長を務め、令和5年度事業報告、同収支決算報告・監査報告、令和6年度事業計画、同収支予算の4本の議案が内藤正久事務局長（昭和51年機械工卒）ならびに西脇幸二会計（昭和53年貿易卒）から提案され、堀越昌樹会計監査（昭和62年法律卒）が監査意見が述べた後、いずれも承認可決された。

講演会には53人が参加し、深澤 徹・神奈川大学国際日本学部名誉教授が『世界に発信する日本文化の力～「謀反人」とは誰のことか』と題し90分にわたり講演された。（要旨は3頁）

懇親会は同会場で、ケイタリング方式で行った。これには6人の女性を含む57人が参加し、堀越昌樹会計監査（昭和62年法律卒）の司会で、田原清彦会長（昭和49年貿易卒）が主催者挨拶。石渡卓神奈川大学理事長、佐藤武神奈川大学宮陵会専務理事の両氏から来賓挨拶を頂き、鎌倉市副市長で今回新会員となられた比留間彰さん（昭和59年建築卒）が乾杯の音頭をとり歓談が始まった。会の中では、初参加者、県内地域組織の方々の挨拶も頂戴した。



### ご挨拶

#### 会長 田原 清彦



本日は神奈川大学三浦半島宮陵会総会にご参加いただき誠にありがとうございます。会長を務めさせていただ

ている昭和49(1974)年3月貿易学科卒の田原清彦です。

本日の総会は、過去の活動や成果について振り返り、今後の方向性や目標について議論する貴重な機会となります。大学からは石渡理事長、宮陵会本部から佐藤専務理事、そして神奈川県内の他地或組織からもたくさんの役員の方にご参加いただいております、改めて感謝申し上げます。

また講演の部では、神奈川大学国際日本学部名誉教授の深澤徹先生からも貴重なご講演をいただくことになっており、大変楽しみにしております。

さて三浦半島宮陵会は、2年後の2026年に創立20周年を迎えます。一方神奈川大学は2028年に創立100周年を迎えます。大学はもうすぐ100歳、我々は20歳になるということですが人は高齢になると新しいものに対して「よくわからない」「昔から使っているものがいい」など、否定的な部分が出てくるものようです。否定ではなく「最後まで話を聞いて、いったん受け止める！」とすることが大切です。スマートフォンやSNS (AI, Bluetooth, Line, X) もいい例ですが、人や組織は高齢になると新しいものを採り入れるのが難しくなるようです。三浦半島宮陵会が老害にならないためのコツとしてとにかく「否定しないこと」からはじめてみて、何事にも億劫にならないようにしていこうと思っています。神奈川大学を卒業した絆を大切に、三浦半島地域や社会に貢献できることを使命と考えておりますし、皆様方のご支援とご協力があるからこそ私たちの活動が成り立っています。過去の歴史を大切にしながら若い世代に引き継いでいくために、将来を見据えて色々なことに挑んでいきたいと思っています。本日の総会、講演が皆様にとって有意義なものとなりますよう願っております。よろしくお願ひ申し上げます。

2023年度収支決算報告(2023. 4. 1~2024. 3. 31)

科 目	23 予算額	23 決算額	増 減	備 考
収入				
会費	120,000	86,000	-34,000	
助成金	80,000	89,160	9,160	宮陵会
雑収入	50,000	73,012	23,012	祝金他
合計	250,000	248,172	-1,828	
支出				
会議費	70,000	66,430	-3,570	会場費
通信費	95,000	84,750	-10,250	
印刷消耗品	25,000	21,253	-3,747	
雑費	124,000	147,256	23,256	謝礼他
合計	314,000	319,689	5,689	
収支差額	-64,000	-71,517	-7,517	
前年繰越金	1,833,503	1,833,503	0	
次年繰越金	1,769,503	1,761,986	-7,517	

2024年度収支予算(2024. 4. 1~2025. 3. 31)

科 目	24 予算額	23 決算額	増 減	備 考
収入				
会費	210,000	86,000	124,000	
助成金	90,000	89,160	840	宮陵会
雑収入	75,000	73,012	1,988	祝金他
合計	375,000	248,172	126,828	
支出				
会議費	70,000	66,430	3,570	会場費
通信費	100,000	94,750	15,250	
印刷消耗品	35,000	21,253	13,747	
雑費	150,000	147,256	2,747	謝礼他
合計	355,000	319,699	35,311	
収支差額	20,000	-71,517	91,517	
前年繰越金	1,761,986	1,833,503	-71,517	
次年繰越金	1,781,986	1,761,966	20,000	

2024年度事業計画

- 親睦を深めながら母校の発展に寄与し、会員増強への基盤づくりを図る。
  - ・会員に対して、ホームカミングデー、神奈川県ブロック会イベント、大学祭(横浜・みなとみらいキャンパス)、

箱根駅伝沿道応援、野球部などの応援、神奈川大学主催の文化講演会や吹奏楽部定期講演会などへの参加を促す。

- ・会員増強を図るため、当会エリアの65歳を迎えた卒業生に「新年会」や「集い(総会)」の案内を郵送し、出席を促す。
- ・女性の卒業生に対しては、女性同士の交流が図れるようLINEグループの拡充を行う。

- 新年会の開催(2025年1月11日土曜日)
- 設立20周年事業の検討
  - ・2026年6月、当会設立20周年に向けて、記念事業(記念誌発行・記念品贈呈・記念講演会開催)を検討する。
- 広報活動の継続と同好会への支援
  - ・会報「三浦半島宮陵会だより」を9月と3月の年2回、オールカラーで発行。
  - ・「三浦半島宮陵会ホームページ」をバージョンアップして情報発信する。
  - ・「LINE」を使って会員同士の情報共有。
  - ・会員相互の親睦や他組織の卒業生とも交流を図るために、ゴルフ同好会、歩こう会、テニス同好会、釣り同好会の行事を開催。
- 現役学生や卒業生との交流を図り連携を深める。
- 役員会(4・9・12・3月の土曜日)を開催。必要に応じて臨時役員会を開催する。



↑ 総会の様子

講演会開催

世界に発信する日本文化の力 ～「謀反人」とは誰のことか？

講師 神奈川大学国際日本学部名誉教授 深澤 徹 氏

講師プロフィール：1953年神奈

川県生まれ。立教大学大学院文学研究科博士前期課程修了。文学博士。

桃山学院大学を経て、2009年より

神奈川大学外国語学部教授。国際日

本学部開設に伴い2020年より国

際日本学部教授。2024年3月定年退職により神奈川大学名

誉教授。近著に「新・新猿蓑記（現代思潮社 2018年）」、

「日本古典文学は如何にして《古典》たりうるか？（武蔵野書院 2022年）」他



要約 / 文責：中川六郎（S44年経済卒 本会顧問）

当初、副題は、「～国際日本学部のこれから～」であったが、表記に変えて、この日の参加者に配布された『「この国のかたち」を求めて～リベラル・主権・言語～』（武蔵野書院2022年）に沿って講演された。

<1 問題の所在 リベラル・デモクラシーの危機>

香港の民主化運動は中国にねじ伏せられ、2010年国家安全維持法が施行され、反対するのは謀反人とされた。いま世界は、権威主義国家と民主主義国家に分かれている。

NHKの朝ドラ「虎と翼」でも、女性の平等を、いかに改善し、実現していくかという内容で、香港の民主化運動と重ね合わせると問題の所在が見えてくる。

<2 伝統文化も学べる総合大学へ リベラルアーツ>

民主主義の基本にあるものはリベラルアーツであり、自由を身につけていく学芸である。神奈川大学では重視されてこなかったが、リベラルアーツを担う国際日本学部が発足した。四面楚歌で出発した国際日本学部の応募はダントツで、日本文化学科は偏差値も高かった。

リベラルアーツの起源は、古代の民主制度を教える場として、ラファエルの絵「アテナイの学堂」にあるように、プラトン、アリストテレスなど当時の哲学者が自由7科(文

法、修辞、論理、算術、幾何、音楽、天文)を教えた。

<3 コロナ禍の中で 権威主義国家 VS.民主主義国家>

コロナの収束で、民主主義国家と権威主義国家のどちらが有利か、都市封鎖か、個人に任せるのか、どちらが有効か考えた。

そういう中で香港の民主化運動抑圧に怒りを覚えた。中国は、香港の憲法を踏みにじり、国家安全維持法を施行し、三権分立を削除し本土化を進めている。民主派は投獄され、亡命した。これには台湾も危機感を覚えている。

<4 「謀叛人・反逆者」というレッテル貼り>

このような緊張感のある国際情勢の中で考えたことを、『「この国のかたち」を求めて～リベラル・主権・言語～』として出版した。

主題は、謀叛人とは何ぞや、国家安全維持法は、国家の方針に異を唱えるのは謀叛人とする。しかし謀叛人は本当に悪いのだろうか。

『統治二論』（1689）でジョンロックは、抵抗権や革命権を天賦のものとして人々の基本的権利に位置づけた。

いわば反逆の権利が認められていいし、認めない空気はどう抗うかを考え香港を見て思い出した。

<5 自然法思想に基づく「抵抗権、革命権」の行方>

丸山眞男の本に「忠誠と反逆」があり、これは真逆だが同じコインの裏表と論じている。歴史をたどり反逆者達はレッテルを貼られたが、彼らこそ忠誠をつくした存在ではないか。ビジョンがあって国家と対立し葬られた。これは日本版リベラルの追求ではないか。西郷隆盛は反逆者として靖国神社に祭られていない。福沢諭吉は西郷隆盛の反逆を肯定している。

丸山眞男は、「謀反」は君主に危害を加え、加えようと諮る。「謀叛」は外国もしくは「偽政権」に公然隠然と通牒・加担してこれを利する行為を意味すると定式化した。

謀反と謀叛の区別はエルンスト・カントローヴィッチが、王の自然的身体と政治的身体とに分けて、立憲君主制の近代的な法治システムが立ち上がってくる。

日本では、古代律令制においても明確に区分されていたが、武家社会では見失われ、明治天皇制において再生する。

<6 研究テーマ「愚管抄」から象徴天皇制を考える>

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」があったが、承久の乱では、後鳥羽上皇が、鎌倉幕府の北条義時を「謀叛人」として追討院宣を全国に下した。しかし鎌倉幕府が朝廷を打ち負かす。これは反逆者である。

ドラマに登場する比叡山天台座主、慈円が、承久の乱を止めようとする。出身が鎌倉寄りの九条家で、謀叛人とレッテルを貼られ、これを弁明するために書かれたのが「愚管抄」である。

論拠は、平安中期の陽成天皇を排して新たに宇多・醍醐朝を立ち上げた例で、カントローヴィッチのいう、王の「自然的身体」を排除し、「政治的身体」としての王の地位を保全したピューリタン革命の議会決定と照応関係を見せている。

丸山眞男は、権力の源泉を、思想的、宗教的な「O正統 (orthodoxy)」と政治的な「L正統 (legitimacy)」を分けている。日本ではO正統は天皇が担う、L正統は政権が担う。これが「愚管抄」に打ち出されている。

平成天皇の生前退位は、現行憲法を拡大解釈すると、ルソーのいう一般意志を体現する立場にある天皇が、その生身の身体の不調を通じて、暗黙の内に政権にノーをつきつけた構図になる。

水戸学によって作られた大義名分論が幕末に日本の歴史を大きく動かすことになる。この大義名分論が、現行憲法の天皇の位置づけと上手く重なってくる。

水戸学が編み出した日本的な考え方が、巡り巡って新憲法下の象徴天皇制を補完する論理として読み替えることができる。

「謀叛人」の考え方を取り込むことによって、よりよい社会が作られてきたことを見ることは大事である。



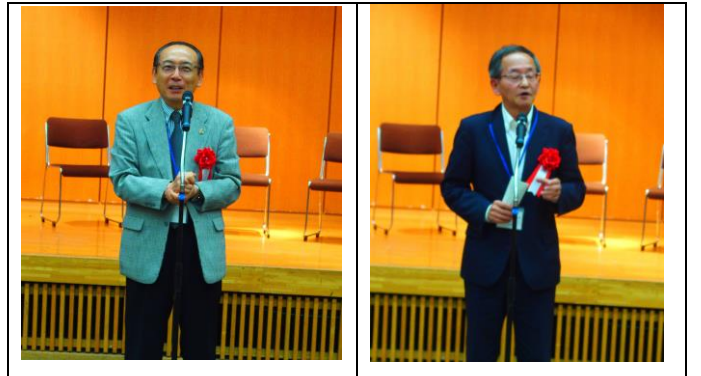
懇親会開催

ここでは懇親会の模様を、写真によって紹介します。



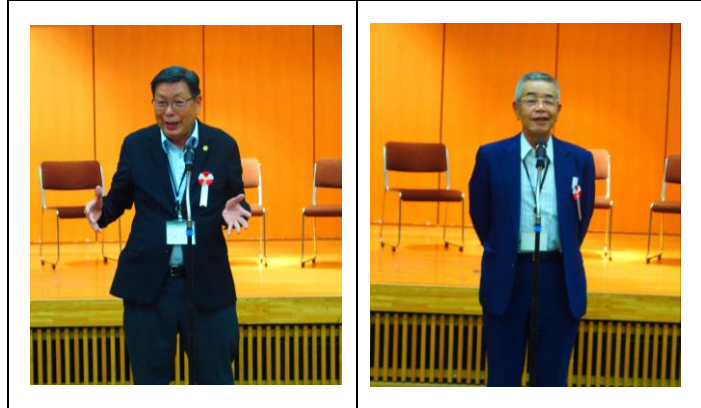
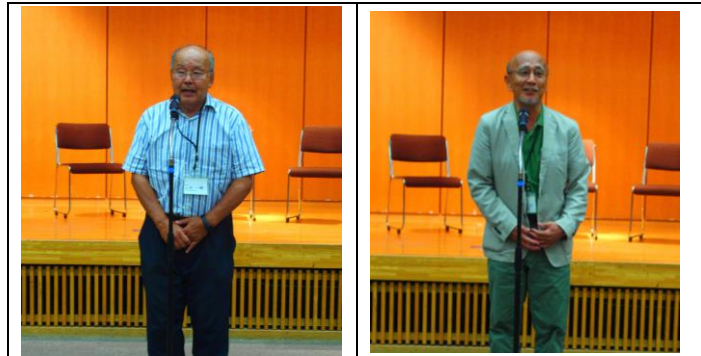
↑ 挨拶する田原清彦会長

↑ 乾杯の挨拶をする比留間諱氏



↑ 挨拶する石渡卓理事長

↑ 佐藤武宮陵会専務理事



↑ 新会員・県内地域組織の方よりご挨拶を頂きました  
上⑤山岸一輔/⑥関淳浩/下⑤小林二三夫/⑥藤井洋の各氏



↑ 県内地域組織の皆様      ↑ 参加者最高齢の川瀬氏  
 ↑ 上☉熊澤明/☉福本昌弘/下☉指旗博の各氏



↑ 懇親会でのひと時



↑ 懇親会では、神奈川大学管弦楽団による弦楽四重奏の素晴らしい演奏を堪能した。演奏して頂いたのは、3年の千葉愛佳さん、藤原こずえさん、2年の上野真亜希さん、京谷樹さんでした。演奏有難うございました。



↑ 中継挨拶の内山曜子さん      ↑ 絶妙の司会/堀越昌樹氏

2024 年度三浦半島宮陵会の集い（総会・講演会・懇親会）は全員で校歌・応援歌を大合唱し、盛況のうちに終了。帰りには「プレドール葉山の食パン」を土産に参加者は、帰途に着きました。（写真及び文 塩塚）

**三浦半島宮陵会同好会通信**  
 活動状況を紹介します

●ゴルフ会世話人:佐藤 武(昭和46年経済卒)

メールアドレス: minami-sugar@nifty.com



連絡先:090-3147-0105  
オープンコンペは、卒業生に関わらず、どなたでも参加できます。ゴルフ好きの友人やご家族をお誘い合わせのうえ、気軽にご参加ください。

2024年5月8日(水)に葉山国際カンツリー倶楽部で2組8名が参加して、第48回三浦半島宮陵会オープンコンペが開催されました。

三浦半島宮陵会ゴルフ同好会では、どなたでも参加できるオープンコンペを5月と10月の年2回開催しています。今回は「春のコンペ」でした。

優勝は古敷谷均氏、準優勝は萩原勉氏、3位は田原清彦氏が受賞しました。



〔優勝者:古敷谷氏のコメント〕

第48回三浦半島宮陵会オープンコンペに、運よく優勝することができました。2組のコンペでしたが、運に恵まれ、メンバーに恵まれ、隠しホールに恵まれての結果でした。ベストスコアは、萩原力さんが86で、私は87でしたが、後半のトリプル、ダボ、ダボの隠しホールでハンデによる優勝でした。

メンバーは田原清彦会長、佐藤武世話人、デフェンディングチャンピオンの長島保雄さんと、緊張する1番ホールでバーディスタートとツキまくりの一日でした。



前回一緒にした長島さんの話をネタにして、楽しくプレーさせていただき有難うございました。また、キャプテンの私が優勝してすみませんでした。以後気を付けます!

次回「秋のコンペ」は、10月16日(水)葉山国際カンツリー倶楽部を予定しています。多数の参加をお待ちしております。

●テニス会世話人:塩塚定雄(昭和48年貿易卒)

メールアドレス: s.shiozuka@aria.ocn.ne.jp



連絡先:090-5581-1043  
テニス会は、月4回程度大津公園テニスコート(京急新大津駅下車)で木曜日15時から行なっています。

今年は8月5日(月)・6日(火)神奈川県箱根保養所に1泊して、町堂仙石原テニスコートを利用してテニス合宿を堪能しました。

合宿には、会員(大倉・古川・砂川・鈴木和夫・西脇・塩塚)のほか大津公園コートでプレーしている渡辺・中村さん、神奈川区の久米信行さん、藤沢市の指旗博さんも参加され総勢10名となりました。高原でのテニスは多少涼しさを感じますが、やはり、終了後の温泉とビールの喉越しはたまりません。入会しませんか?

渋滞にも巻き込まれず、帰りには箱根湯元で、神大OBが経営する「かっぱ天国」の露天風呂でひと汗流しました。



●歩こう会世話人内藤正久(昭和51年機械卒)

メールアドレス: naitoumasahisa@hotmail.com



連絡先:090-6479-3297

歩こう会は、会員の方々は勿論のこと、ご家族やお友達、ご近所の方々にも参加していただける楽しい会です。

当会は、年2回（春・秋）歴史や話題性のあるテーマを決めて歩いたり、三浦半島の景勝・自然を楽しんだりしています。同時に、会員の交流にも重点を置いて企画しております。

秋の歩こう会は、ご要望の多い「みなとみらいキャンパス見学会」と「京急ミュージアム（電車博物館）入館」をセットにして10/5(土)に行います（詳細は同封の別紙「ご案内」をご覧ください）。定員が15名ですので、お申し込みは早めをお願いします。

●つり会世話人:塩塚定雄（昭和48年貿易卒）

メールアドレス：s.shiozuka@aria.ocn.ne.jp

連絡先：090-5581-1043

現在休止中です。企画が出来上がりましたらご案内しますので、是非ご参加ください。



歩こう会報告

「横浜市立金沢動物園を探ろう」

2024年4月21日（日）、今年の新年会の講師、小國徹横浜市立金沢動物園園長のご案内で歩こう会を開催。

参加者は15名（ご夫婦3組）、天気は動物園内を歩いて回るのに最適な薄曇りで気温も快適でした。

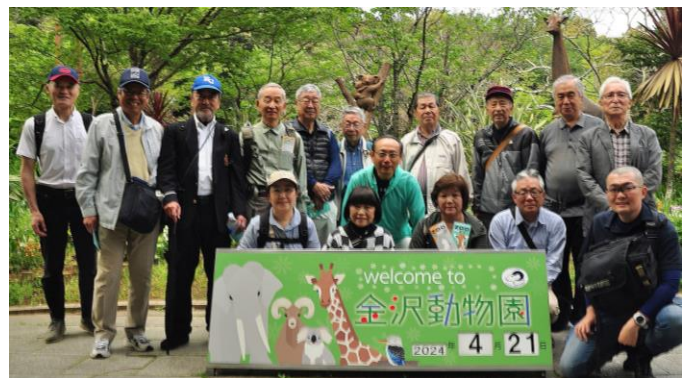
参加者は、9時50分の集合時間前に、京浜急行金沢文庫駅改札口前に集まったので、予定していたより一本前9時51分発金沢動物園行の急行バスに乗ることができた。10時2分に動物園に到着すると、現地集合の4名（ご夫婦2組）と小國園長が出迎えてくださった。

お互い挨拶を交わして、参加記念品を幹事から受け取り、入園チケットを各々で購入した。JAFの会員は、5名まで

100円割引ということで、3名以上のJAF会員がいたため、全員が400円で入園できた。

動物園入口から「なかよしトンネル」を抜けて山坂のある「動物園エリア」約2.5kmを歩いて回ることになる為、まず初めに、全員で集合写真を撮ることにした。

金沢動物園は、豊かな自然に囲まれた金沢自然公園の中にあり、自然の地形を上手く利用して動物を配置し、檻の中に閉じ込めて展示するのではなく、極力自然の姿で展示しているのが特徴だ。動物はアフリカ・オセアニア・アメリカ・ユーラシア区に別れ、その大陸の特徴的な動物や鳥などが展示されていた。



参加者は、小國園長の解説を聞きながらアフリカ区のモモイロペリカンを皮切りに、サイやキリンなどを観察し、次のオセアニア区ではコアラやカンガルー、アオバネワライカワセミほかをゆっくり観て回った。

アメリカ区の手前には標高116mのしいの木展望台が配置されており、金沢文庫・八景方面や東京湾などの景色を楽しむことができた。続いてアメリカ区のおオツノヒツジやカピバラ、マーラなど、そしてユーラシア区ではインドゾウ・サイ、タンチョウなどを観察した。日頃動きの遅いコアラが活発に動き回り、シロテナガザルの指しゃぶりの可愛い姿が印象に残った。

今回小國園長の特別なご配慮により、キリンの宿舎を見学させてもらった。天井の高さが6m以上もある宿舎の2階でキリンの好物の葉っぱを与えると、手の届くところまでキリンが近づいて来て舌を使って上手く食べる生々しい姿を観察した。日頃は近くで観られない姿に感動した。

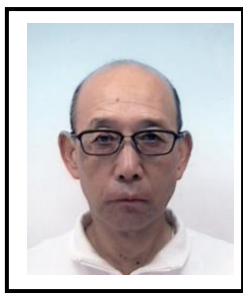


3時間以上かけてゆっくり動物を観て回ったため、公園内にあるレストラン「ののはな館」には、予定を大きく過ぎて到着。席を確保し、各々好きなものを注文して昼食を取った。14時17分に金沢動物園発のバスが出るので少し慌ただしかったが、食事をしながら親交を深め合った。

今回3組のご夫婦が参加され、皆さんと打ち解け合って楽しい時間を過ごされたようだ。今後はご夫婦だけでなく、子供さんやお孫さんなどの参加も歓迎したい。(内藤正久)

### 武井利徳さんを思いで

嶋田 晃 (S47 経済卒)



武井さんと初めてお会いしたのは、地域の青年会の会合でした。団塊の世代として、高度成長期の時代に、様々な苦勞を乗り越え過ごした同世代の友を失うということは、寂しい限りであります。

故武井利徳さん 会合等でお会いし、会話を重ね神大同志と知り、更に三浦半島宮陵会にて交流を深め、亡くなるまで半世紀のお付き合いをさせて頂きました。

武井さんは三浦半島宮陵会副会長・会計責任者・ゴルフ同好会員として皆様と交流を深めてこられました。

お人柄については皆様もご存じのとおり、人付き合いがよく、新しい出会いの方でも、その場を和ませる優しい人柄でした。細かいことによく気が付き会計には適任でした。

そんな武井さんは3年前から週3回の人工透析治療を受け、大病院の看護部長を務められた奥さんと二人三脚で治療をされておりましたが、本年6月7日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌。

### 〈本会のホームページのリニューアルについて〉



当会のホームページ(HP)を2024年10月1日を目標に更新作業を進めています。

新たなHPでは、容量が大きくなりますので、これまで発行した会報の創刊号から直近の号迄が、閲覧できるようになります。また、次の4点が変わります。①画面が見や

すくなります。②「ホーム」画面で当会の活動やお知らせを分かりやすく表示します。③他の地域組織と体裁が揃います。④宮陵会本部の情報も当会HPで確認することができます。

なお、HPの検索方法は、これまでと同じように『神奈川県三浦半島宮陵会』で検索してください。

また、これまでのHPに記載の情報は、期限を区切って新たなHPに移行する予定です。

現在役員会では、当会の最新情報をいかにタイムリーにHPで発信するか等、運用方法を検討しています。新しくなる当会のHPにご期待ください。

### 2025(令和7)年「新年会」開催予告

2025年「新年会(講演会・懇親会)」を1月11日(土)にヴェルクよこすかで開催いたします。

留学生の参加やマンドリンの演奏など、楽しい企画も考えています。是非スケジュール表にお加えください。

ご案内の往復ハガキは、12月中旬に郵送いたします。多くの皆さんの参加を、お待ちしております。

### ～ 編集後記 ～

本号は、先日開催されました、令和6年度三浦半島宮陵会の集い(総会・講演会・懇親会)の様子を掲載させて頂きました。会員の皆様を始め、県内各地宮陵会の皆様方、多数のご参加有難うございました。

本会報も年2回手作りで発行し18年目、本号で35号となりました。本号より印刷は外注し、念願であったオールカラー版となりました。今までより鮮明な写真を、お届けできるようになるかと思います。

今後も本誌とリニューアルとなる本会ホームページを通じまして、会員相互の絆が更に深まることを念願し、編集してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。また、大学時代の思い出や現在の状況などの投稿、感想やご意見などもお寄せいただけましたら、幸いに存じます。よろしくお願い致します。(塩塚定雄)

